

第63回

日本医学図書館協会総会報告

大阪回生病院 加島 民子

第63回日本医学図書館協会(JMLA)総会が平成4年5月28日～29日、当番館九州歯科大学附属図書館のもとに、九州厚生年金会館で開催された。近畿病院図書室協議会はここ数年来オブザーバーとしての参加を認められ、今回は私が2日目の総会に出席した。

総会はずまず定例の議題一平成3年度事業報告、決算、平成4年度事業計画、予算の各案が審議され、承認された。続いて将来計画委員会基本問題検討部会より提案された「本協会の今後のあり方について」が審議され、承認された。

この案はJMLAの方針を抜本的に見直すもので、これまでの厳しい加盟基準をクリアした等質集団から病院図書室、さらに個人会員も含む専門職集

団へと飛躍するものである。このような改革の背景には、病院図書室とのネットワーク形成の必要性や学術情報センター(NACISIS)の設立に伴う協会の存在理由の見直し、財政基盤の建て直しを迫られているという状況がある。承認されたこの案は関連する委員会で具体的な検討を急ぎ、2年後の第65回総会に最終的案を出す予定である。なおこの案については、議題審議の後にシンポジウム「これからの医学図書館の運営と課題」を企画し、協会顧問並びに館長、図書館員により広く意見交換がなされた。議案の最後に役員選挙があり、会長には開原成允東京大学医学部教授が選ばれた。

恒例の協会賞・奨励賞は2名が奨励賞を授賞された。また今回はJMLA会員外で対象外である3名に特別に総会の場で賞賛の意が表明された。そのうち病院図書室の司書が2名選ばれた。

最後のプログラム特別講演「ファジィ情報処理とその医学的応用の可能性」は九州工大の山川烈先生の絶妙な語り口に乘せられて、難解な理論にもかかわらず、会場は笑いの渦であった。

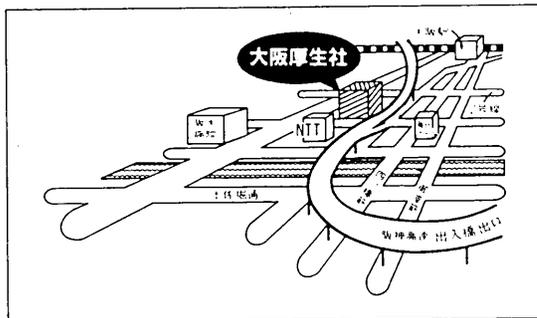


Since 1946

■鮮度のいい情報を大量にストック
メヂカル情報発信基地!

月刊**医学情報** 医学関連記事を全国21紙より抜粋(年間購読料22,000円)

- TOKYO ☎(03)3294-0021
- YOKOHAMA ☎(045)243-0181
- KANAZAWA ☎(0762)84-0791
- SHIGA-IDAI ☎(0775)48-2091
- TOYOAKE ☎(0562)93-1821
- KYOTO ☎(075)761-2181
- MORIGUCHI ☎(06)992-1051
- TAKATSUKI ☎(0726)83-1161
- KINDAI ☎(0723)66-0221
- WAKAYAMA ☎(0734)33-4751



厚生社 本社 〒530 大阪市北区堂島3-2-7 ☎(06)451-3711 Fax.(06)452-5080